

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
応用講座3②							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・昼間部	2年	2期	山浦 常				
分野区分	教育課程		講義形式	単位			
応用分野			座学	1			
				10			
科目概要							
1年生で学んだ内臓器の構造と調節器官について復習する。繰り返し学ぶことでより理解を深め知識の定着を図る。この範囲は医療従事者として評価考察する上で必要不可欠な知識である。また各学生が理解し習得するための手助けをしていく授業である。しっかりと理解を深め今後学習する科目に役立てていただきたい。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	1年で学んだ知識を定着させ、今後の学問の理解へ生かすことができるようにする。繰り返し学ぶことで理解を深めることができるようにする。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 人体の構造の理解を深めることができる。 2. 内臓器の構造について理解を深めることができる。 3. 教科書を読み解く力をつけることができる。 4. 演習問題を読み解く力をつけることができる。 5. 繰り返し勉強する習慣を身につけることができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
医学用語の基礎知識							
教科書・参考書							
「解剖学改定第2版」社団法人全国柔道整復学校協会							
受講上の注意							
教科書に加え、自分の学習参考書を持参可能。電子機器は不可とし、必ず教科書または参考書を使用すること。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90					10	100
	その他...授業内レポート						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	I期の解説・復習			解剖学改定2版P1~186	教科書、筆記用具		
第2回	泌尿器系 泌尿器の働き、泌尿器の構造(腎臓、尿管、膀胱、尿道)			解剖学改定2版P186~192	教科書、筆記用具		
第3回	生殖器系 働き、男性生殖器(精巣など)、女性生殖器(卵巣など)			解剖学改定2版P192~205	教科書、筆記用具		
第4回	内分泌系 働き、内分泌器(下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎など)			解剖学改定2版P207~215	教科書、筆記用具		
第5回	神経系① 神経系の基礎(区分と特徴など)、脳(各種の形態と機能)			解剖学改定2版P217~230	教科書、筆記用具		
第6回	神経系② 脊髄(区分、伝導路)、末梢神経(脳神経)			解剖学改定2版P230~245	教科書、筆記用具		
第7回	神経系③ 末梢神経(脊髄神経、自律神経系)			解剖学改定2版P245~259	教科書、筆記用具		
第8回	感覚器 外皮、視覚器、聴覚器と平衡器、味覚器、嗅覚器			解剖学改定2版P261~274	教科書、筆記用具		
第9回	第1回~第8回のみ			解剖学改定2版P186~274	教科書、筆記用具		
第10回	期末試験				学生証、筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
yamaura-t@nihonisen.ac.jp							